

# ほげんだより

愛川町立中津小学校  
保健室  
令和8年2月13日

## 第15号

1月から引き続き**インフルエンザB型**が流行しています。

町内の小中学校でも学級閉鎖が出ています。本校でも注意が必要な状況が続いています。今流行しているインフルエンザB型は、急な発熱だけでなく、腹痛や嘔吐などの症状から始まることもあると聞いています。「なんとなく元気がないな」、「いつもと様子が違うな」という変化がありましたら、無理をせず、体調を見て登校の判断をお願いいたします。引き続き、感染症対策にご協力をお願いいたします。

また、**インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症についての登校届が、中津小学校のホームページからダウンロードできるようになりました。**インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症と診断された場合にご活用ください。今まで通り、登校届は学校にもありますので、診断された場合は学校までお知らせください。  
(中津小学校 HP→)



## 薬物乱用防止教室（6年生）

2月6日（金）、6年生を対象に厚木警察署スクールサポーター 須田隆先生を講師にお迎えし、薬物乱用防止教室を実施しました。



教室では、アルコールの体への影響や、危険な薬物の恐ろしさについて学びました。また、「誘われたらどうする？」をテーマにロールプレイを行い、断り方やその場を離れること、信頼できる大人に相談することの大切さを考えました。



薬物乱用防止教室の中では、「危険な薬物は一度の乱用でも将来を台無しにしてしまうことがある」、そして、「あなたに薬物をすすめる人は、あなたや家族を不幸にする人です」という強いメッセージが伝えられました。

県央地区では先輩や友だちに誘われたことをきっかけに始めてしまうケースが多いという話を伺いました。自分の体と未来を守るために、正しい知識を持ち、勇気をもって断る力を身につけてほしいと願っています。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

**STOP！薬物乱用！**

## 性犯罪・性暴力から子どもを守る「いのちの安全教育」

テレビやニュースで見聞きする内容について、不安に思われることがあるかもしれません。子どもたちを性犯罪・性暴力の当事者にしないために、今、全国で推進されている「生命（いのち）の安全教育」。中津小学校でも、各クラスで文部科学省の指導手引きに基づき、発達段階に応じた指導を行っています。

ねらい	
低・中学年	自分と相手の体を大切にする態度を身に付けることができるようにする。また、性暴力の被害に遭ったとき等に、適切に対応する力を身に付けることができるようにする。
高学年	自分と相手の心と体を大切にすることを理解し、よりよい人間関係を構築する態度を身に付けることができるようにする。また、性暴力の被害に遭ったとき等に、適切に対応する力を身に付けることができるようにする。

### おはなしゆりの木さん ～いのち・からだ・こころのおはなし～

保健室から、今月の読み聞かせのテーマに、いのち・からだ・こころのおはなしを選んでいただきました。

子どもたちが毎日元気に学校生活を送るために大切な「いのち」、「からだ」、「こころ」。その大切さを、物語を通してやさしく届けてくださいました。4～6年生の各クラスで読んでいただいた本をご紹介します。



『火の鳥 いのちの物語』

原作：手塚治虫 文・絵：鈴木まもる 出版社：金の星社

『いのちのおはなし』

文：日野原重明 絵：村上康成 出版社：講談社

『聞いて聞いて！音と耳のはなし』

文：高津修・遠藤義人 絵：長崎訓子 出版社：福音館書店

『からだっていいな』

作：山本直英・片山健 出版社：童心社

『さっちゃんのまほうのて』

作・絵：たばたせいいち 出版社：偕成社

『やさしいさんばつや』

作：くすのきしげのり 絵：横須賀香 出版社：小学館

『ベトちゃんドクちゃんからのてがみ』

文：松谷みよ子 絵：井口文秀 出版社：童心社



子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。おはなしゆりの木さんからは、「時間が足りないくらい、もっと聞かせてあげたかったです。」という声もいただきました。お忙しい中、子どもたちのために本を選び、心をこめて読んでくださったボランティアの皆さまに、心より感謝申し上げます。これから1～3年でも読み聞かせをしていただく予定です。今から楽しみです。